

# 安房高野山霊場八十八ヶ所案内

1番より88番まで88体尊が祀られています。



1番 出生  
両親と神仏の徳を授かる



13番 禪祝  
男女とも成人の祝い



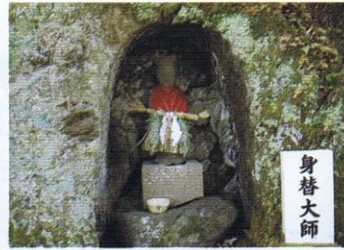
25番 結婚  
人生独立の節目でしよう



28～32番  
女の厄まで辛抱坂



33番 女の大厄  
無理せず過ぎましょう



34番 身替大師  
修業大師に励まされる



41番 男の前厄  
運気が下がり始める



58番 無情坂  
下り坂。苦難が続く



65番 生死の境目  
健康大切に。注意して



81番 化粧坂  
有終の美を飾る身辺整理



88番 米寿  
おめでとうございます



番外 神変大菩薩  
役の行者。修験道の祖

## オハツキラッパイチョウ

山門を入れてすぐ右手に幹周2.6m、樹高約20m、樹齢約100年。オハツキイチョウはギンナンが葉の先に付くイチョウで、ラッパイチョウは、葉がラッパ状に丸まるイチョウで、共に変異種で大変珍しいものです。ラッパイチョウは全国21樹で千葉県ではここ1樹です。妙音院のイチョウはその両方を同時に発生する文化財級の価値ある樹と言えます。



オハツキイチョウ



ラッパイチョウ

## 妙音院とは

光照山医王寺妙音院といい高野山金剛峯寺直末の古義真言宗のお寺で「安房高野山」とも呼ばれています。天正17年(1589)大名里見義康公の発願により、高野山別院・里見家の祈願寺として安房国へ開山され、里見氏より161石の寺領が与えられました。江戸時代となっても徳川家から寺領75石が与えられ保護されていました。その背景には、紀州徳川家との深い関わりがあったと言われています。江戸時代は徳川家の祈願寺として保護されました。徳川家より奉納されたという「大般若経典六百巻」が寺宝として伝わっています。大正12年の関東大震災で本堂・薬師堂が倒壊しましたが、檀信徒の努力ですぐに復興しました。昭和初期、太平洋戦争東京大空襲の後、館山にも焼夷弾が投下され、米軍の落した一発が着弾し、本堂・庫裡・緒堂などが焼失し、唯一焼け残ったのが現鐘楼堂、山門です。現在もなお焼け焦げた鐘楼堂が、その当時の様子を物語っています。

高野山真言宗 安房高野山 妙音院  
〒294-0038 千葉県館山市上真倉1689  
Tel: 0470-23-8285 / FAX 0470-49-5154

## 年間行事

毎月	14時～護摩修行
1月第3日曜日	13時～採燈大護摩供
3月彼岸中日	14時～お彼岸法要
5月第4日曜日	13時半～人形供養・火渡り
8月16日	日没～地獄絵解き・送り火
9月彼岸中日	13時～大般若・読法要
12月大晦日	0時～元朝護摩修行